―農薬を使わない・有機物入りの土で育てた体にやさしい野菜―

野菜ともだち通信

№1022　2026/6/11（木）あらき農園　TEL080-1366-8984



里芋の草取り

里芋の種芋を植えた畑が４０日の間に草におおわれてしまいました。
里芋の芽を切らないように手作業で草取りをしてもらっています。

お届けの野菜　・北あかりじゃが芋・向陽人参・玉葱・キャベツ・坊主知らず葱・その他

簡単レシピ　人参のしりしり

人参１００g、ツナ缶（70～80g）１缶、卵１個、
A：醤油小さじ２、塩少々

① 人参をスライサーで千切りにし、ごま油でしんなりするまで炒める。
② ツナ缶の汁を切ってほぐしつつ加えAを加える。
③ 溶き卵を回し入れる。＊ ツナ缶はなくても大丈夫です。



ニンニクの収穫

主な作業　ニンニクの収穫・落花生・ごぼうの種まき、ピーマン・ヘチマ・ゴーヤ・はぐら瓜・キャッサバ・トマト・ヤーコン・ローゼルの定植、さつま芋の苗植え、なすときゅうりの芽欠き、草取り、耕運など。

６月の絵本紹介

ヨンイのビニールがさ〈　ユン・ドンジェ/作　キム・ジェホン/絵　　ピョン・キジャ/訳　〉　岩崎書店



この絵本のもとになった詩が発表されたのは、１９８０年代。韓国は高度経済成長期に入っていましたが、庶民の生活はそれほど豊かではありませんでした。傘も丈夫な布製のものが多く使われるようになっていましたが、この絵本に出てくるヨンイ（小学生の女の子、決して生活は豊かではなさそう）が使っているのは、ビニールがさ。その骨は細い木で、ビニールも薄く、すぐに破けてしまいそうなものでした。

雨の朝、ヨンイは学校への道で雨に濡れながら、コンクリートの塀にもたれて眠っている物乞いのおじいさんをみかけます。その横にはへしゃげた空き缶がおいてあるのだけど、雨水があふれ出ています。その姿を見て、ヨンイは大事なはずの傘をあたりをよーく見まわしてから、そっとおじいさんにさしかけてあげて登校します。

午後になって、雨が止み、帰宅するとき、ヨンイは見つけるのです。朝、ヨンイが差し掛けてあげた傘がたたまれ、まっすぐに塀に立てかけてあるのを。おじいさんの誠実な生き方を感じます。「おじいちゃんが持って行ってくれてもよかったのに・・・」とつぶやくヨンイ。切なくなるような重い色合いの絵がとても印象的な絵本です。雨だけの場面・・・すべてを表現していないのに深い思いが伝わります。緑のぼかしや雨に煙る様子がほんとうに印象的です。韓国の絵本には子供っぽさを排除したようなデザイン、独創的なストーリーの作品が多い気がします。

残念ながら、この本は日本では、絶版になっているようで、中古品しか手に入りませんでした。図書館にはあります。

（市川市の幼稚園・国府台小・中学校で読み語りをしている田中成子さん）

＊田中さんから本をお借りしました。ご希望の方は荒木までご連絡ください。

6/25（木）大根・じゃが芋・人参・玉葱・坊主知らず葱等

野菜の傷みや苦手な野菜なので別の野菜にとのご要望がありましたらご連絡ください。